

東京23区が  
見える。わかる。

2023 AUTUMN

Vol.54

# ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

## 四季のあるみんなの公園 もっと知ろう 楽しもう!

### 公園

- 墨田区…隅田公園
- 江東区…豊洲ぐるり公園
- 品川区…大井坂下公園
- 目黒区…すずめのお宿緑地公園
- 大田区…大森ふるさとの浜辺公園
- 世田谷区…桜丘すみれば自然庭園

### クマなくさんぽ

- …緑あふれる生涯学習拠点  
本の森ちゅうおう

### 所蔵資料蔵出し

- …「東京都五千分之一地図」



もっと活用しよう!

# 特別区自治情報

こんなことしたよ

令和5年度第1回全国連携展示

「被災地支援を通じた全国連携 ～復興に向けて共に歩む～」

今年は、大正12(1923)年に発生し、近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年の節目に当たります。令和5年7月15日(土)から9月6日(水)にかけて、災害対策をテーマとして東京区政会館(1階エントランスホール)において展示を開催しました。我が国では、首都直下地震や南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震災害のみならず、近年多発する台風災害、大規模水害なども激甚化しており、災害対策は喫緊の課題となっています。

展示では、被害の概要や当時の支援状況などについて写真や資料で振り返りました。

**主催** 特別区長会、公益財団法人特別区協議会 **後援** 東京都



展示会場の様子

「茨城ふるさとフェア」を開催します

こんなことやるよ

茨城県の多彩な魅力の発信、茨城県と東京23区との交流を目的として、茨城県19自治体と茨城県のアンテナショップ「イバラキセンス」が出店し、茨城県の特産品や物産品の販売、観光情報などのPRを行うイベントを開催します。



**日時** 令和5年10月19日(木) 11:00～15:00 (荒天中止)

**場所** 東京区政会館(千代田区飯田橋3-5-1)前オープンスペース

**主催** (公財)特別区協議会、茨城県 **後援** 千代田区

※荒天、感染症の状況によっては、急遽中止等になる場合もありますので、当協議会のホームページでご確認ください。

## 出展団体・予定

日立市、常陸太田市、大子町、笠間市、小美玉市、城里町、東海村、潮来市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、美浦村、利根町、稲敷市、古河市、下妻市、筑西市、坂東市、桜川市、茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」



昨年の茨城ふるさとフェアの様子

# 交流センター

## 特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万5千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料  
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



## ▶▶ 東京都 五千分之一地図

社団法人復興土地住宅協会

昭和27(1952)年発行

今回ご紹介するのは、昭和27(1952)年発行の「東京都五千分之一地図」です。

東京23区の地域が95枚に分割され、五千分の一の縮尺で詳細に表されています。当センターで所蔵しているのは95枚が完全にそろっている非常に貴重なもので、戦後の東京を知るうえで大変有意義な資料です。

右は中央区京橋周辺の地図です。現在の地図には見られない川があることがわかります。これらは江戸時代に物資の運搬などに使われた水路で、戦後の復興期にがれき処理のために埋め立てられていきました。

地図に見られる橋の中には、鍛冶橋や数寄屋橋など現在も地名として名前が残っているものもあります。



左は新宿駅周辺の地図です。新宿駅東側の歌舞伎町には新宿区役所があり、当時も現在と同じ場所にあったことがわかります。

また、新宿駅の西側には淀橋浄水場が見られます。現在、淀橋浄水場は廃止されており、その跡地には東京都庁の庁舎などの高層ビルが立ち並んでいます。



普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



中央区

## 緑あふれる生涯学習拠点 「本の森ちゅうおう」

2022年12月に開館した「本の森ちゅうおう」は、京橋図書館と郷土資料館を併設した複合施設です。子どもから大人まで誰もが親しみをもって利用でき、歴史・文化を未来に伝える地域の生涯学習拠点となっています。

### 誰もが快適に過ごせる図書館

京橋図書館は、幼児から高齢者まで様々な年齢の方々、多様な価値観や趣味を持つ方、読書活動が困難な方、外国人など、あらゆる利用者に本を読む楽しさを味わってもらえるようにと、さまざまなジャンルの40万冊の資料を所蔵しています。

創設112年の歴史を誇る同図書館は、戦禍を免れ戦前の資料が3万4千冊と多く残っています。これらを含め6万7千冊もの中央区や東京都に関する歴史、文化、地域の資料を所蔵している地域資料室は、京橋図書館の一番の特徴であり伝統です。ほかにも、子ども目線で本を探ることができる子どもコーナーや、ティーンズを対象にした図書が揃うコーナーなど、フロア毎に特徴のあるコーナーを展開しています。

さらに、屋上庭園や仲間と会話しながら休憩できるつどいの森など都会にありながら緑を感じる空間や多目的ホール、カフェなど、心地よく過ごせる空間を提供することによって、人々が出会い、交流するというコンセプトを実現しています。

また、多目的ホールでは、子どもから大人まで誰でも楽しめる様々なイベントを開催しています。

### 文化財に触れる機会を提供

郷土資料館には、江戸以来400年以上にわたる中央区の歴史・文化が感じられる資料を所蔵しています。ハイビジョン映像や歴史年表などで伝える常設展示室と、テーマを決めて地域の歴史や美術館などと連動した展示をおこなう企画展示室があります。常設展や企画展などを通じて効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図るとともに、資料をデジタル化しICTを活用するなど、来館者が中央区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示を行っています。



↑ 中央区の歴史や文化の資料が数多く所蔵されている地域資料室。毎月の特集展示や、中央区にゆかりのある人物の資料などを特設コーナーで紹介しています。



↑ 子どもコーナーには、子ども向けの資料や絵本のほかに、バリアフリーの資料を集めた「りんごの棚」やSDGsに関する資料もあります。



↑ 都会の中で緑を感じられる屋上庭園では月1回、星空観望会を開催しています。



↑ 80名が入場可能なイベントや会議等を行える多目的ホールでは、著名人の講演会などを多数開催しています。



↑ 郷土資料館の常設展示室には、資料の実物展示に加え、ハイビジョン映像で見る中央区の成り立ちや歴史年表、7つのテーマ展示コーナー、絵巻ビジョンコーナーなどを設けています。

#### 郷土資料館イベント

#### よみがえるまちの歴史 特別展「大八丁堀展」

会期 令和5年10月7日～12月17日

江戸時代から近現代までの八丁堀における歴史や風俗の変遷や与力・同心、出土遺物、人々のくらしなどを紹介し、八丁堀の魅力に迫ります。

#### 本の森ちゅうおう(京橋図書館・郷土資料館)

所在地 中央区新富1-13-14

開館時間 月～土9:00～21:00(日祝～17:00)

休園日 第3木曜日、年末年始(12/31～1/2)、臨時休館あり

入館料 無料

アクセス 東京メトロ日比谷線・JR八丁堀駅より徒歩1分

お問合わせ 03-3551-2151(京橋図書館)

03-3551-2167(郷土資料館)



特集  
第2回(全4回)

# 四季のあるみんなの公園

もっと知ろう  
楽しもう!



東京23区の公園を特集!  
今回は計6区を  
ピックアップします!

## 墨田区



### 多様なニーズに対応し、日常的に賑わう公園へ

震災復興3大公園の一つとして開園した隅田公園は台東区と墨田区に移管された公園です。墨田区では、「水と緑のサードプレイス、人が集い、つながり、文化を育む場」をテーマに、2020年(令和2年)に第1期再整備工事を完了しました。再整備によりイベント等の開催可能な舗装広場や区内最大の芝生広場が整備され、「そよ風ひろば」の愛称で親しまれています。「そよ風ひろば」は、マルシェやダンス、大道芸、映画上映など様々な形で利用され、日常的に賑わいのある公園となっています。



歴史案内板の設置や震災復興整備時の石積み再利用などにより、公園の歴史性が尊重されていることも再整備の特徴です。2025年(令和7年)には、園内にある日本庭園の歴史的・文化的価値を活かす第2期再整備工事が完了する予定です。

### 隅田公園

所在地 墨田区向島1,2,5  
開園時間 常時開園  
休園日 なし  
利用料金 無料  
アクセス 都営地下鉄浅草線本所吾妻橋より徒歩5分  
お問い合わせ 03-5608-6291  
(墨田区道路公園課)



## 江東区



### 「また行きたい」と感じてもらえる場所を目指す

2018年(平成30年)に全面開園した「豊洲ぐるり公園」は、豊洲ふ頭の手回りをぐるりとまわった全長4.5kmの園路で、散歩やランニング、釣り等を楽しむことができる公園です。約15.2haという広大な面積を誇る公園の先端部では、空と海、レインボーブリッジを一望でき、丘上の遊具広場も、海側の景色を楽しめるスポットになっています。活気あるベイエリアとして発展し続ける豊洲地域で、新たな公園の過ごし方を提供することで、来園者のよい思い出がつけられるようとして管理運営に取り組んでいます。



埠頭先端部には手ぶらで利用できるBBQ広場とパークレストランがあります。どちらも眺めのいい開放的なオープンスペースで、非日常的な体験ができる施設です。同じく豊洲埠頭にある豊洲公園では10月には「動物フェス」、12月には「星とクリスマスフェス」などイベントも多く開催され、ここにくると何かあるという期待感を演出しています。

### 豊洲ぐるり公園

所在地 江東区豊洲6-1-先、江東区豊洲5-1-先  
開園時間 常時開園  
休園日 なし  
利用料金 無料  
アクセス ゆりかもめ市場駅前より徒歩10分  
03-3520-8819  
お問い合わせ (豊洲ぐるりパークセンター)



## 品川区



### 障害の有無にかかわらず一緒に楽しめる公園

品川区基本構想の中で謳われている「区民と区との協働によるまちづくり」の一環として2019(令和元)年度から2020(令和2)年度にかけて、区内の小学3・4年生を対象に、だれもが一緒に楽しめるユニバーサルデザインに配慮した公園(遊具)を整備するためのアイデアを考えるワークショップを開催しました。大井坂下公園は、このワークショップで子どもたちから提案されたアイデアを取り入れ整備を行った公園として、2022(令和4)年にリニューアルオープンしました。



大井坂下公園では、車いすに乗ったまま遊べるテール式の砂場や子どもたちが複数人乗れる車型ブランコなど、子どもたちから出された80以上のアイデアの中から31のアイデアを取り入れられました。複合遊具は、車いすでも登れる幅広のスロープを備えており、車いす利用者も介助者とともに滑ることができます。

### 大井坂下公園

所在地 品川区南大井6-23-11  
開園時間 常時開園  
休園日 なし  
利用料金 無料  
アクセス JR大森駅より徒歩5分  
03-5742-6526  
お問い合わせ (品川区防災まちづくり部公園課維持担当)



## 目黒区



### 自然林を生かし、区民の散策の場・憩いの場に

江戸時代に始まった目黒の筍栽培は、大正中頃に最盛期となり、現在の「すずめのお宿緑地公園」にある竹林では、良質の筍が収穫されたと言われています。また、昭和のはじめ頃、この竹林は付近一帯のすずめのねぐらになっていたことから、「すずめのお宿」と呼ばれるようになりました。所有者の「自分の死後お国に返したい」という遺志が生かされて国有地となったこの土地を1981年に目黒区により公園として整備され、今では、年代を問わず多くの人々の憩いの場として利用されています。



園内には竹林やシイ・ケヤキの大木が残り、シジュウカラやヤモリ、カブトシといった生き物が多く生息しています。北側の一角には、江戸時代に「年寄」という村の重要な役職を代々務めた栗山家の主屋(目黒区指定文化財)が移築・復元されており、お月見行事や正月飾りといった年中行事が催されています。

### すずめのお宿緑地公園

所在地 目黒区碑文谷3-11-22  
開園時間 常時開園  
休園日 なし  
利用料金 無料  
アクセス 東急東横線都立大駅より徒歩10分  
03-5722-9775  
お問い合わせ 03-3714-8882  
古民家 03-3714-8882  
古民家団体見学に関する問い合わせ: 03-3715-3571  
(めぐろ歴史資料館)



## 大田区



### 大森の海を伝える都内初の浜辺のある区立公園

大森ふるさとの浜辺公園は、区民参加によるワークショップや報告会などを積み重ね、区内では初めての砂浜や干潟を持つ区立公園として、平成19年に開園しました。園内の「ふるさとの広場エリア」には全長30mのローラーライダーや芝生広場があり、「浜辺エリア」にはかつての大森海岸を再現した砂浜があります。隣接する大森東水辺スポーツ広場にはビーチバレー場などもあります。近隣の住民をはじめとし、遠足で訪れる子どもたちや家族連れなど、さまざまな人たちが訪れる公園です。



大森海岸の再生をテーマに整備されており、シギやチドリ、ハゼ、ゲンゴロなどの生き物が確認されています。海藻の一種である「コアモロ」の浜辺での移植実験や、鳥類の餌場となるよう一部の草地は刈らずに残すなどの取り組みにより、自然環境を身近に感じてもらえるような公園を目指しています。

### 大森ふるさとの浜辺公園

所在地 大田区平和の森公園2-2、ふるさとの浜辺公園1-1、大森東1-37-1  
開園時間 ふるさとの広場エリア: 終日利用可  
浜辺エリア: 5:30 ~ 21:00  
なし(浜辺エリアは12/29 ~ 31閉園)  
休園日 無料(徒歩)・有料(自転車)・有料(フットサル場)は有  
利用料金 無料(徒歩)・有料(自転車)・有料(フットサル場)は有  
アクセス 京浜急行線平和島駅より徒歩15分  
03-3768-6204  
お問い合わせ (大森ふるさとの浜辺公園事務所)



## 世田谷区



### 武蔵野の風景が残され多くの生き物が棲む庭園

「桜丘すみれば自然庭園」は、武蔵野の風景を再現するという構想のもと、昭和初期に造られみどり大切に守られてきた庭園です。庭園跡地を取得した世田谷区では、住民参加によるワークショップを行いながら緑地づくりに取り組み、2003年(平成15年)に開園した庭園には、クヌギやコナラの雑木林やスミレの咲く草地、トンボの棲む池があり、さまざまな植物や昆虫、野鳥などを見ることができます。世田谷区では地域のひとたちと協働し、武蔵野の風景と生き物たちを守り育てています。



ネイチャーセンターには自然解説員(インタープリター)が常駐し、訪れる人たちに季節ごとのみどころや、生き物の魅力を伝える活動を行っています。月に一度開催される「生きもの観察会」のほか、さまざまなイベントを開催し、見つける、見る・触れる、つくる、学ぶといった楽しみの場を提供しています。

### 桜丘すみれば自然庭園

所在地 世田谷区桜丘4-23-12  
開園時間 4 ~ 9月: 9:00 ~ 17:00、10 ~ 3月: 9:00 ~ 16:00  
12/29 ~ 1/3  
休園日 無料  
利用料金 無料  
アクセス 小田急線千歳船橋駅より徒歩10分  
03-3412-7841  
お問い合わせ (世田谷区世田谷公園管理事務所)



# 特別区自治情報・交流センターからのご案内

## 東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

**開催時間** 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

**東京都公文書館紹介展示**  
「東京市刊行物からみた関東大震災  
～被害と復興」

**主催** 東京都公文書館、  
(公財)特別区協議会  
**期間** 令和5年11月7日(火)～12月25日(月)

**特別区全国連携プロジェクト**  
令和5年度第2回全国連携展示

**主催** 特別区長会、  
(公財)特別区協議会  
**期間** 令和6年1月10日(水)～2月27日(火)

## 特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
- 開館時間 平日|9:30～20:30 土曜日|9:30～17:00 日曜日・祝日・年末年始等|休館

### 休館等のお知らせ

- 蔵書点検に伴う休館 令和5年12月11日(月)～16日(土)
- 年末最終日 令和5年12月28日(木)17時閉館
- 年末年始の休館 令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(水)

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

### (公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

### 特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apse.jp/tokyo-23city/>

### 特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

### Twitter公式アカウント

@tokubetsukuma23

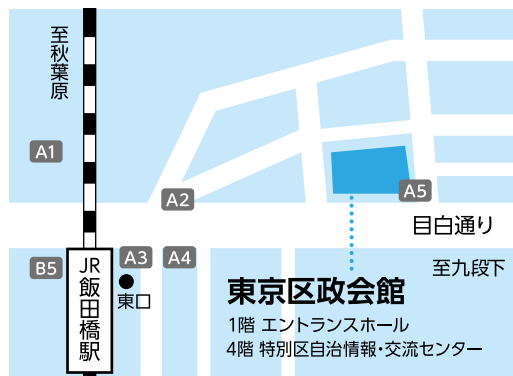


### 編集後記

区立公園の紹介シリーズ第2回をお届けします。外に出るには心地よい季節となりました。近くの公園だけでなく、少し足を延ばして散策してみたいかがでしょうか。

表紙:本の森ちゅうおう

### 特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ  
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分  
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分  
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分  
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分